



岸田さん

これでいいの？

(防衛三文書)

吉田 麗

私は、優しい夫に恵まれて専業主婦を53年続けてきました。これまで、専業主婦は一般的に政治や経済に関心がないものと思われています。私は、市民大学の18期に入学して講師の先生や同級の仲間との交流で、世界に目を向けることがあり友人らとの会話で、常に政治・経済問題に関して興味を持って話題にしてみました。

### 防衛費増額

昨年からのロシアのウクライナ侵攻などの国際問題に関して他人事として、放っておくことができなくなっています。そのような中で、特に気になっているのは、岸田首相の防衛三文書です。国会審議をせずに、こっそりと閣議決定して、日本が戦争をする(あるいは仕掛ける)国になっていくのではないかと、非常に心配しています。日本には「憲法第9条」という世界でも稀に見る平和憲法があります。岸田首相はこの憲法9条をないがしろにして、日本が戦争に向かって行くための防衛費増額を計画しているのではないかと危惧します。昨年12月18日の共同通信の世論調査では、防衛費増額反対が53.6%、賛成が39.0%でした。日本人の多くの人が防衛費増額に反対しているのです。

男性はどうかわかりませんが、女性のほとんどは反対していると思います。それは、なぜでしょうか？自分の子供、孫たちに悲惨な戦争を経験させたくないからです。ロシアの婦人団体がプーチンの戦争に反対しているのも、自分の身近な家族が戦争に巻き込まれないという思いからです。



### 敵基地反撃能力

防衛三文書には、敵基地反撃能力を有するためにアメリカのトマホークなどのミサイル購入を計画しています。政府は明言していませんが、この場合の、敵(敵国)

は、北朝鮮、中国、ロシアと予想されています。私達には理解できない北朝鮮はともかくとして、中国やロシアと戦争するつもりなののでしょうか。あまりにも現実離れしているため、私には理解できません。岸田さんは本気で考えているのでしょうか？防衛費増額でなくて、岸田さんに必要なのは外交努力ではないのでしょうか。

### 食糧危機

ロシア・ウクライナ戦争によって明らかになった食糧危機は、小麦価格の高騰を招き、ロシア・ウクライナ産小麦の消費国(アフリカ・中近東諸国)に危機的な飢餓が心配されています。日本は、食料自給率が先進国では、37%と最低レベルです。これまで、政府は、食料は輸入に頼ればよいと考えていたのですが、このままでいいのでしょうか？所沢でも耕作放棄地が増え続け、高齢化による農業者が減少しています。将来の日本の食料は大丈夫なのでしょうか？私は、生活クラブ生協の会員ですが、その機関紙などに隅々まで目を通し、現在の日本の食料の抱える諸問題などについて心配しています。



### まとめ

私は岸田首相が防衛費増額・武器輸入を考える前に、唯一の戦争被爆国日本が、今やらなければならないことがたくさんあるのではないかとと思っています。

例えば、先進国で最低レベルの教育費の増額、気象変動対策、老朽化した原発の再稼働を止め、再生可能エネルギー対策など、日本が後れをとっている分野に予算を計上しておくべきではないでしょうか？

そのような意味で、私は、**防衛三文書に反対**です。